

下都賀教育事務所

ふれあい学習情報紙

栃木市神田町6-6
下都賀教育事務所
ふれあい学習課
0282-23-3422
E-Mail
shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



下都賀地区ふれあい学習ネットワーク

1月23日(木)、岩舟町文化会館を会場に下都賀地区ふれあい学習ネットワークを開催しました。教職員、行政職員、地域コーディネーター等78名の参加がありました。前半の事例発表では、県立小山南高等学校針谷英子教諭より、ボランティア活動とおした高校生と地域のつながりについて、取組の一部をご紹介いただきました。後半は講演会。「地域全体で育むソーシャルキャピタル ～人が人らしく生きるために『おだがいさま』の心を～」と題して、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター天野和彦特任准教授より講話をいただきました。参加者からは、「社会教育、生涯学習の意義を考えるきっかけになった。」などの声を数多くいただきました。



巡回伝統芸能公演

2月14日(金)、岩舟町文化会館にて、岩舟町内小学校を対象に巡回伝統芸能公演【狂言鑑賞会】が開催されました。本公演は当初、10月16日(水)に予定されていましたが、台風のために延期となり、待ちに待った公演となりました。狂言大蔵流「山本会」による演目「柿山伏」「附子」を鑑賞しました。迫力ある本物の狂言を鑑賞するだけでなく、代表児童によるワークショップや全体で参加する場面もあり、伝統芸能文化の素晴らしさに触れるよい機会となりました。



深めよう、地域の絆

とちぎ未来アシストネット～絆づくり～(栃木市)

栃木市では、「栃木市教育計画」の方針に基づき、平成24年度より「とちぎ未来アシストネット事業」を推進しています。この「とちぎ未来アシストネット」では、市内を9つのエリアに区分けして、それぞれに地域教育協議会を設置するとともに、その事務局として、各公民館に地域アシストネット本部を置いています。この推進体制により、それぞれの地域で学校と地域が連携し、“地域ぐるみで未来を担う子どもたちを育てる。”ことを行っており、現在特に中心となっている活動が、「学校支援ボランティア」です。市内小中学校の全てに配置された地域コーディネーターと学校コーディネーター(教職員)の調整によって、平成25年度には延べ24,501人のボランティアの方が、学校の教育活動のために活躍されています。



☆国分寺公民館まつり☆(下野市)

2月1日(土)・2日(日)の2日間、下野市内の4公民館(国分寺・南河内・石橋・南河内東)まつりのトップバッターとして、国分寺公民館まつりを開催しました。日頃、国分寺公民館を拠点に活動している自主サークルや公民館講座の作品展示・発表会をはじめ、体験コーナーや模擬店コーナーあり、子ども映画会ありで盛大に開催することができました。当日は天候にも恵まれ、お互いの活動成果を発表し合いながら、活動分野や世代を超えた、人々の交流の場となりました。



キラリ☆ふれあいの輪

未来のお父さん、お母さんのために(壬生町)

「Wake up! 頭 Power up! 力を発揮できる食事づくり ～自分で作ってみようお弁当～」をテーマに、未来の親となる中学生を対象とした「子育て・親育ち講座」を、1月19日(日)壬生中央公民館で開催しました。今回の講座は、「やがていつかは親の立場となる中学生のため、家庭教育を食生活の面から考えるきっかけを提供できれば」という子育て支援グループ「ポケット」の呼びかけにより実現しました。講師は町内小中学校の栄養教諭、学校栄養職員4名が務め、参加した38名の中学生に、「お弁当のキ・ホ・ン」やお弁当をつくる楽しさを伝えました。

中学生たちは、できあがった料理といっしょに、講座でお世話になった方々の温かい気持ちもそれぞれが持ってきたお弁当箱に詰め込みました。



野木町煉瓦窯を愛する会(野木町)

野木町煉瓦窯をご存知ですか?野木町で唯一の国指定重要文化財であり、日本でも類がなく、世界でも非常に珍しい近代化遺産の建物です。この建物を愛する本会は、公民館講座の町民大学歴史編「古き遺産を未来に繋ぐ」での受講生が発起人となり、平成22年3月に発足しました。事業内容は、野木町煉瓦窯の価値の再発見と未来の子ども達への伝承をコンセプトに、煉瓦窯に関する歴史資料の収集や現状・修復過程の記録、地元の方などへの聞き取り調査などを実施しています。また、公民館講座「煉瓦窯案内ボランティアガイド養成講座」の企画・運営を行い、煉瓦窯特別公開時において、一般町民を巻き込んでガイドを実施しているほか、中学校へ出向き、煉瓦窯の歴史を伝えています。現在、修復工事中ですが、完成が待ち遠しいです。

